

【広島大・久光製薬】第1セット、広島大の谷⑫がスパイクを決め、12-20とする。⑪は野口、⑩は林



広島大(女子)、久光に善戦

全日本バレー第7日

バレーボールの全日本選手権第7日は2日、川崎市とどろきアリーナで男女各16強による

JT(男子)8強

▽男子2回戦

JT	3	2522525	1	立命大
フレイ	3	22251819	1	(京都)
FC東京	(東京)	3-2サン		

トリ・フレミアリーグ、大分三好(フレミアリーグ)3-1東海大(神奈川)、豊田合成(フレミアリーグ)3-0早大(東京)、パナソニック(フレミアリーグ)3-0新編教員ク(新潟)

0きんてん(大阪)、堺(フレミアリーグ)3-0福岡大(福岡)、NECフレミアリーグ3-0大同特殊鋼(愛知)、東レフレミアリーグ3-0新編教員ク(新潟)

久光製薬	3	252525	0	広島大
フレイ	3	131414	0	(広島)
グリ	3	252525	0	

▽女子2回戦

岡山	3	252525	0	日立
スガシ	3	222013	0	日立
グリ	3	252525	0	

2回戦があった。男子のJTは立命大に第3セットを奪われたものの、3-1で振り切って準々決勝進出。女子の広島大は、フレミアリーグの久光製薬に0-3で敗れた。

男子はJTなどフレミアリーグ勢が8強入りする中、リーグ連覇を狙うサントリーがチャレンジャーだ。

男子のJTが、学生相手

に苦戦のスタートを切った。セッター丹山慎昭は「受けに回ってしまった」と顔をしかめた。半年ぶりに公式戦出場したスパーエース直弘龍治やパンテレイが先発した第1、2セットを連取。だが中山大祐や小川旭ら若手だけとなった第3セットは、レシーフからの攻撃が単調で攻撃厳しかった。

学生に苦戦

J T

男子のJTが、学生相手

に苦戦のスタートを切った。セッター丹山慎昭は「受けに回ってしまった」と顔をしかめた。半年ぶりに公式戦出場したスパーエース直弘龍治やパンテレイが先発した第1、2セットを連取。だが中山大祐や小川旭ら若手だけとなった第3セットは、レシーフからの攻撃が単調で攻撃厳しかった。

「途中で声が出なくなるとコミュニケーション不足」とセッター田村裕之。リベロ後藤幸樹は「相手と戦う前に自分のプレーばかり考えてしまった」と猛反省し表情は厳しかった。

「速攻通じた」

広島大、今後へ手応え

衣主将。得意なはずのサーブレシーフがなかなかセッターに返せなかった。なんと放つスパイクも180センチ前後のブロックが待ち受けた。二段トスなどアタッカーを絞られやすい攻撃は、上から覆われるように封じられた。それでも、「速さのある攻撃は通用したと思う」とセッター

谷優香。切れのあるクイックはブロックをすり抜け、野口彩佳らの絶妙なクロスは相手の壁をかわした。「学生レベルでは体験できない質。すごくいい経験だった」と野口。14、14、13点。食らいついた得点新たな歴史への確かな一歩となった。(中橋一誠、写真も)

NECフレミアリーグ、3-0松隆大(神奈川)、武蔵野フレミアリーグ、3-0筑波大(茨城)、バイオテックフレミアリーグ、3-0三洋電機大阪(大阪)、東レフレミアリーグ、3-0九州化学園高(長崎)、デンソーフレミアリーグ、3-0トヨタ車体フレミアリーグ、JTフレミアリーグ、3-0OPF(石川)